

CRE 戦略の新たなソリューション

太陽光発電所(メガソーラー)を建設

2013 年度中に 3 施設合計で発電出力約 53MW

- 三井不動産株式会社は、テナント企業などに保有不動産 (CRE : Corporate Real Estate) の有効活用における新たなソリューションを提供するとともに、再生可能エネルギー発電の推進により、日本のエネルギー調達・ベストミックスおよび自給エネルギーの確保・多様化に貢献するため、この度、太陽光発電所(メガソーラー)を建設することとなりました。
- 建設予定地は山口県山陽小野田市で、発電出力約 13MW (メガワット) の発電所を計画しており、本年 10 月に着工し、2013 年度の稼働を目指しています。この他、2013 年度中に太陽光発電所を 2 施設稼働させる計画があり、3 施設合計の発電出力は約 53MW となる予定です。
年間発電電力量は約 5,600 万 kWh となる見込みで、一般家庭の年間消費電力量約 15,000 世帯分に相当します。
- メガソーラー事業については、土地所有企業から借地し、発電所を建設した後、発電した電気を電力会社に売電いたします。発電所の仕様については、日本製の太陽電池モジュール・設備を採用します。
- 当社は、これまで保有不動産の有効活用など顧客企業に CRE 戦略の提案を積極的に展開しており、4 月 9 日に発表した「イノベーション 2017」では、物流事業への参入により既存のアセットクラスのバリエーションを拡大する方針を打ち出しました。メガソーラー事業により、CRE 戦略の新たなソリューションを提供し、これまで以上に顧客企業の幅広いニーズに応えてまいります。
- また、当社は「柏の葉キャンパスシティ」や「パークホームズ大倉山」などで、「スマートシティ」の取り組みを推進しています。本事業を通じて、メガソーラーの「創エネ技術」のノウハウを蓄積し、これらの街づくりに活かしていきたいと考えています。



(仮称) 三井不動産 山陽小野田太陽光発電計画 イメージパース

<添付資料 1> 計画概要

「(仮称) 三井不動産 山陽小野田太陽光発電計画」

所在地	山口県山陽小野田市大字小野田字末広 7525 番 10 外
計画地面積	約 16ha
計画出力	約 13MW
事業主	三井不動産株式会社
土地所有者	太平洋セメント株式会社
スケジュール	2012 年 10 月 着工予定 2013 年度 竣工・運転開始予定
事業期間	20 年間

<添付資料 2> 位置図

「(仮称) 三井不動産 山陽小野田太陽光発電計画」

